

産地との顔の見える関係づくり

JAいなば



理事会メンバーで産地視察に行ってきました①

5月19日(火) ココラボ『富山コシヒカリ』でおなじみのJAいなば(富山県小矢部市)を訪れました。生産者との交流を通じて、米づくりの現状などを伺いました。

生産者との交流

人口減少と1人当たりの米の消費量が減ったことで、年々需要が減少していますが、それを上回る勢いで米の生産者や農地の減少が続いています。交流した生産者は高齢の夫婦で米づくりを続けられていますが、近年では鳥獣被害・猛暑への対策・農業にかかるコスト増などで苦労されています。そんな中でも「美味しいお米を届けたい」という想いで続けられ、私たちの「美味しかった」の声が励みになっています。

JAいなばの取り組み

美味しい米を作るために土づくりやきめ細やかな水田管理を生産者と一緒に行っています。近年では、田植え時期の調整など猛暑対策もされていました。カントリーエレベーターでは、生産者から荷受けされた米を乾燥し、籾のまま適温で貯蔵・品質管理が行われているので、私たちが年間を通じて美味しい米を食べることが出来ます。



ホームページやインスタでも詳しく報告してるから見てや〜



生産者との交流で、米づくりに携わる熱い想いを知り、改めて日本の農業を応援したいという想いが強くなりました。JAいなばの安定した米生産に向けての取り組みを学び、実際の田植えの様子も見学させていただき、これからの食の未来について考えるきっかけとなりました。

みんなで食べて、「美味しかった!」の声を届けましょう!



あそびばたけ通信

設計デザインおひろめ会

2025年5月、新施設の建設予定地で設計デザインのお披露目を2日間にわたって開催しました。これまでのヒアリングやワークショップを通して形になった設計案のイメージ模型を展示しました。他にも、新施設には調理室ができることを知ってもらうためのピザづくり体験や、新施設での企画をイメージしたおしゃべりひろばなど、さまざまな企画を実施し、合計で約150人の方に参加



生協のトラックの乗車体験も!

いただき、多くの交流が生まれる機会となりました。現在のプロジェクトでは、地域の人たちが出会い、さまざまなことにチャレンジできる施設となるよう、今後の運営方法について検討を進めています。



商品配達の仕事体験できるブース。子どもたちから大人気!



今回は...

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介
団体名: いのこの里 地域交流サロン『ぽっぽ』
活動エリア 吹田市山田西
開催日 毎月第3土曜日(子どもカフェ) 毎週火・水曜日など(「つながり処」他)



いのこの里地域交流サロン『ぽっぽ』さんについて

いのこの里地域交流サロン『ぽっぽ』さんは、吹田市亥子谷(いのこだに)地区にある特別養護老人ホーム『いのこの里』が運営する施設です。いのこの里の『地域に開かれた交流の場を作りたい』という運営理念のもと2019年にオープンしました。週2~3日開設しており、子どもたちに無料でカレーをふるまう「子どもカフェ」や、食事を通じて地域の高齢者や障がいのある方が気軽に交流できる場『つながり処』など、さまざまなイベントを開催されています。



5月の『子どもカフェ』開催日に訪問しました!



子どもカフェのカレーは月によって具材が変わりますが、5月はチキンカレーでした。中辛・甘口・グルテンフリーの3種類があり、アレルギーにも対応しています。お昼になると子どもたちや保護者の方がやってきました。おいしそうなおカレーが手際よく盛り付けられていきます。スタッフはみなさん地域のポラン

ティア。この日は大人と子ども合わせておよそ30人が来られ、食卓が笑顔に包まれていました。



カレーをワイワイ食べる子どもたちもいれば、家族でゆっくり過ごす方も。『いのこの里』のお年寄りもおしゃべりしに来てくれます。生協さんからの食材はすべて大切にに使わせていただいています。いつもありがとうございます。

いのこの里地域交流サロン『ぽっぽ』スタッフ 山下さん

紙面に載せきれない
くわしいお話はこちら



よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支援していきたいと考えています。

子ども食堂などを支援できる『よどまる応援基金』についてくわしくはこちらから♪



毎週受付中~♪

よどまる応援基金のご案内

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(1=100円)を記入。インターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。



『我らよどがわ縁農隊』活動レポート③



『我らよどがわ縁農隊』とは...

よどがわ市民生協の田植え・稲刈り体験でご協力いただいている茨木市上音羽の農家さんは、生産者の高齢化や後継者不足による『人員不足』が大きな課題となっています。

組合員から「農家を応援したい」「農作業に興味がある!」などのご意見があり、農業について知り、学ぶことを目的に2024年に『我らよどがわ縁農隊』を立ち上げました。参加募集は、公式LINEの『我らよどがわ縁農隊』に登録されている470人の組合員にLINEで案内をしています。

昨年(2025年)はのべ203人の参加があり、独活や大豆の植え付け・収穫作業に加え、上音羽営農組合より畑を借り、『よどまるファーム』として玉ねぎ・じゃがいも・大根の栽培を行いました。



4/11(土)よどまるファームで独活の植え付け

上音羽営農組合さんの農地で三島独活(みしまうど)の植え付けを行いました。



三島独活は、大阪府茨木市(旧三島郡)周辺で江戸時代から栽培されている「なにわの伝統野菜」です。組合員・理事とその家族も含めた19人と、職員・事務局5人の計24人が参加しました。

三島独活は上音羽地区で代々受け継がれてきた株を分割して増やします。以前、地区唯一の生産者さんが伝統野菜の三島独活の栽培を止めることになり、上音羽営農組合にて株を受け継ぎました。来年の春の収穫を目指します!三島独活が食べられるようになるまでにはたくさんの工程や手間がかかっているということを作業を通じて実感しました。



内容・詳細
申し込みはこちら!